

令和 8 年度 川崎市立御幸中学校 教育課程説明会



資料目次

- ① 教育目標・教育課程編成について …… P1
 - ② 日課時程表・学習評価について …… P2~3
 - ③ 定期テスト日程表について …… P4
 - ④ 各教科におけるテーマと評価の視点 …… P5~11
- 国語・社会(P5) 数学・理科(P6) 音楽・美術(P7)
保健体育・技術・家庭(P8) 英語(P9) 道徳(P10)
特別活動(P11) 総合的な学習の時間(P12)
- ⑤ 各教科年間授業予定 …… P13~15

日時:令和8年4月24日(金)

場所:本校体育館

教育目標および教育課程編成について

1 基本方針

< 本校の教育目標 >

心を磨き、地域・社会に貢献できる人へ

～ 自律心・向上心・認め合う心・思いやる心・協力する心・感謝する心 ～

< 教育課程編成の方針 >

- 学校教育目標を具現化するために、生徒が自主的・主体的に学習や生活に取り組む資質・能力・態度を育てることを目指した教育課程を編成する。
- 「生きる力」の理念を重視し、教育目標にある豊かな心を育み、健やかな体になれるよう調和のとれた教育を進めるための教育課程を編成する。

☆授業配当計画 …………… 基礎・基本的な知識の習得のための授業時数の確保

【教科週時間数配当表】

上段：年間の時間数

下段：週の時間数

学年	必修教科の授業時数									道徳	特活	総合	合計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技・家	英語				
1年	140 4	105 3	140 4	105 3	45 1.3	45 1.3	105 3	70 2	140 4	35 1	35 1	50 1.4	1015 29
2年	140 4	105 3	105 3	140 4	35 1	35 1	105 3	70 2	140 4	35 1	35 1	70 2	1015 29
3年	105 3	140 4	140 4	140 4	35 1	35 1	105 3	35 1	140 4	35 1	35 1	70 2	1015 29

【日課時程表】 50分

	月・火・木・金	水	朝会ありの日	月	火	水	木	金
予鈴	8:20		8:20					
本鈴	8:25		朝会 8:25～ 於) 体育館	(出席確認)				
学活	8:25 ～ 8:30			朝の学級活動				
1校時	8:35 ～ 9:25		8:45 ～ 9:35	学活				
2校時	9:35 ～ 10:25		9:45 ～ 10:35	学活	○	道徳	○	○
3校時	10:35 ～ 11:25		10:45 ～ 11:35	○	○	○	○	○
4校時	11:35 ～ 12:25		11:45 ～ 12:35	○	○	○	○	○
給食準備	12:30 ～ 12:45		12:40 ～ 12:55	○	○	○	○	○
給食	12:45 ～ 13:05		12:55 ～ 13:15	給食・学級内の片付け				
昼休み ※1	13:05 ～ 13:20 【4月のみ 13:05～13:30】 (以降 10分繰り下げ)		13:15 ～ 13:30 【4月のみ】 【13:15～13:40】	片付け(返却)・昼休み				
5校時	13:25 ～ 14:15		13:35 ～ 14:25	○	○	○	○	SELF
6校時	14:25 ～ 15:15	14:35 ～ 15:25		○	○	○		SELF
清掃	15:20 ～ 15:30			14:20 ～ 14:30	15:30 ～ 15:40			清掃
振り返り	15:35 ～ 15:45	14:35 ～ 14:45	15:45 ～ 15:55	個人振り返り				
学活	15:45 ～ 15:50	14:45 ～ 14:50	15:55 ～ 16:00	学活				

※4月は1年生の給食指導定着のため、全学年昼休みを10分延長し、5・6校時も10分繰り下げて実施します。

※テスト対策の一環として、帰り学活前に20分間の学習時間を設けることがあります。

① 学習評価について

現在の学習評価は、学習指導要領に定める各教科の目標に対する生徒一人ひとりの達成度をみる「目標に準拠した評価」です。各教科では、目標をもとに観点別に評価規準を設定し、授業等を通して観点別評価を行います。前期末と学年末に「観点別評価」とこれらを総合的に判断し総括した「評定」を示します。

1 評価に関する基本的な考え方

(1) 評価場面

① 日常の授業、単元・題材のまとめ

生徒の取組や発言・発表の内容を観察・確認したうえで、ノートやレポート、小テスト、単元テストなどの記載内容を確認、分析するなどして各観点の評価を行います。

② 学期末、学年末

単元や題材ごとに分析した結果を総合し、観点別評価を総括し5段階で評定を行います。

(2) 評価のための資料

① 各教科では、それぞれの学習内容に適した資料をもとに評価を行います。

② 生徒には学年の始めや新しい学習内容に入る際に、評価のための資料、学習のねらい、重要視される点などについて説明を行います。

③ 定期テストは観点別評価の資料の一つとして捉えます。

※ 定期テストは学習内容に対する習得度を観点別に採点して点数を示しています。
 なお、評価・評定についてはテスト結果だけで決定するわけではありません。日頃の学習活動への取組とあわせて総合的に評価をしていきます。

2 観点別学習状況の評価について

(1) 評価の観点・・・全ての教科において次の3観点に基づいて学習評価を行います。

観 点	趣 旨
知識 技能	各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価するものです。
思考 判断 表現	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものです。
主体的に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価するものです。

○各教科の観点ごとに評価する視点や資料、判断材料となるものは各教科にページに記載しています。

3 観点別学習状況の評価の総括

学習指導要領が示す各教科の目標に照らしながら、教師が生徒に到達して欲しいと願う目標を定め、その実現状況を観点ごとに5段階（A^o、A、B、C^o、C）で評価します。

- | |
|--|
| <p>A^o 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの。
 A 十分満足できると判断されるもの。
 B おおむね満足できると判断されるもの。
 C^o 努力を要すると判断されるもの。
 C 努力を要すると判断されるもののうち、一層努力を要するもの。</p> |
|--|

4 観点別評価から5段階評定への総括

が示している、A^o を5点、Aを4点、Bを3点、C^o を2点、Cを1点として合計点を算出した場合の一例です。

(神奈川県教育委員会 令和2年3月「カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価～学習評価資料～」より抜粋)

評 定	観点別評価と評定の組合せ代表例 ()は合計点	評 定	観点別評価と評定の組合せ代表例 ()は合計点
5	A ^o A ^o A ^o (15) A ^o A ^o A (14)	2	B C ^o C ^o (7) C ^o C ^o C ^o (6)
4	A ^o A A (13) A A A (12) A A B (11)		C ^o C ^o C (5)
3	A B B (10) B B B (9) B B C ^o (8)	1	C ^o C C (4) C C C (3)

○A^o ～ C の並びは例の通りだけではありません。

○評定は、観点別評価の総括であり、テストや一つの評価材料だけで判断されるものではありません。

5 5段階評定への総括

各教科の目標に照らして、観点別学習状況の評価を基にし、その実現状況を総括的に5段階で評定します。

- | |
|--|
| <p>5 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの。
 4 十分満足できると判断されるもの。
 3 おおむね満足できると判断されるもの。
 2 努力を要すると判断されるもの。
 1 努力を要すると判断されるもののうち、一層努力を要するもの。</p> |
|--|

6 学習状況の通知について

各教科の観点別評価及び評定の通知

全学年共通 : 10月(前期末)と3月(学年末)に通知表でお知らせします。

3年 : 上記に加え、11月末までの観点別評価と評定を『進路用の成績』としてお知らせします。

《令和8年度 定期テスト日程表(4月24日時点)》

テスト名	実施日	対象学年	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	
前期中間	6月10日(水)	1年	国語	社会	数学	理科	学活	
		2年					英語	
		3年						
前期期末	9月8日(火)	1年	社会	技術・家庭	数学	理科	/	
		2年		音楽				
		3年		美術				
	9月9日(水)	1年	英語	美術	国語	音楽		/
		2年		技術・家庭		学活		
		3年		音楽		技術・家庭		
後期中間	11月5日(木)	3年	数学	技術・家庭	理科	英語	/	
	11月6日(金)		音楽	国語	社会			
	12月9日(水)	1・2年	数学	理科	英語	国語		
学年末	2月4日(木)	3年	理科	英語	国語	社会	数学	
	2月24日(水)	1年	理科	音楽	英語	国語	/	
		2年		美術				
	2月25日(木)	1年	美術	社会	技術・家庭	数学		
2年		技術・家庭	音楽					

【確認事項】

*保健体育は年間を通して定期テストは実施しません。*音楽、技術・家庭は昨年通り実施します。

*1年生の英語は前期中間テストを実施しません。

*2年生の美術は前期期末テストを実施しません。(学年末のみ実施)

*3年生の美術は後期中間テストを実施しません。(前期期末のみ実施)

*テスト前の諸活動の停止期間を6日に設定します。

国語科

(1)学習指導要領における目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを旨とする。

(2)本校における教科テーマ：【「自ら学び、他者と学ぶ」探究的授業づくり】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
視点	○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしているか。	○論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、生活や人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにし、広めたり深めたりしているか。	○言語がもつ価値を認識するとともに、自身を見つめ、課題を理解し、学びの調整を行いながら粘り強く学習に取り組んでいるか。
資料	○定期テスト（語彙の問題） ○作文 ○課題の記述内容 ○書写（硬筆・毛筆）	○発表活動（話し合い活動を含む） ○定期テスト ○作文の記述内容 ○ノートの記述内容 ○ワークシートの記述内容	○授業での取り組み ・話し合い活動等の様子 ・自身に身につけている資質・能力の理解・把握・取り組むべき課題の理解・把握 ・身につけた資質・能力を活用しようとする姿勢等 ○提出物（ノート・プリント）の内容

社会科

(1)学習指導要領における目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。

(2)本校における教科テーマ：【主体的に学習に取り組む生徒の育成】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
視点	○事象についての特色や関連を理解して、知識を身に付けているか。 ○事象に関する様々な資料から必要な情報を読み取ったり、図表などにまとめたりしているか。	○事象から課題を見だし、複数の視点や立場から特色を考え考察（構想）し、その結果を表現できているか。 ○事象の変化や比較をふまえ判断し、自分の考えを考察（構想）し、表現することができているか。	○よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしているか。
資料	○テスト ○ワークシートの記述内容 ○GIGA 端末で行った課題の記述内容 ○単元のまとめの記述内容 ○作図や資料の読み取り	○テスト ○ワークシートの記述内容 ○GIGA 端末で行った課題の記述内容 ○単元のまとめの記述内容	○授業での取り組み →学習の見通しを立てる →課題を解決する中で仲間との学びや修正・調整する ○振り返りの記述内容 ○課題の記述内容の変容

数学科

(1)学習指導要領における目標

数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学と実社会との関連についての理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとするなど、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

(2)本校における教科テーマ：【「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化した数学的活動の充実を図る ～探究的な姿勢と学び合う姿を大切に授業～】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形に関する本質的な考え方、基本的な法則を理解し、それを正確に身に付けているか。 ○基礎的な数量や図形の技能を使ったり組み合わせたりして、事柄を表現し、課題を処理できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○筋道立てた考え方や表現力を高められているか。 ○考え方を深めたり、広げたりする力を高められているか。 ○課題解決に向け知識や技能を活用する力を高められているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学び合う態度を向上させているか。 ○広く深く学ぶ意欲を高められているか。 ○学習や課題に対して粘り強く考えることができているか。 ○問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとしているか。 ○自ら課題を発見し、解決しようとしているか。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト ○単元習熟テスト ○ワークシートや発表、課題の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト ○単元習熟テスト ○ワークシートや発表、課題の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に取り組む姿勢 ○発表や意見交換時の様子 ○提出された課題からの読みとり ○単元習熟テスト

理科

(1)学習指導要領における目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するための資質・能力を育成する。

(2)本校における教科テーマ

【理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するための資質・能力を育む授業づくり】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、実験などを行うことを通して、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解している。 ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象に進んで関り、それらの中から問題を見いだしている。 ○課題を解決する方法を立案し、観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象に進んで関り、科学的に探究しようとしている。 ○主体的に探究する活動を通して、自然の美しさ、精妙さ、偉大さを実感し、新たな問題を見いだそうとしている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○授業、観察・実験への取り組み（発言、記述内容等） ○レポートなどの提出課題の内容 ○定期テストの観点別問題 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業、観察・実験への取り組み（発言、記述内容等） ○レポートなどの提出課題の内容 ○定期テストの観点別問題 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業、観察・実験への取り組み（発言、記述内容等） ○単元や章、探究活動の振り返りなど ○レポートなどの提出課題の内容

音楽科

(1)学習指導要領における目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

(2)本校における教科テーマ：【音楽的な見方・考え方を働かせるための授業実践】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
視点	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想と音楽の構造や背景などとの関わりについて理解しているか。 ○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、表現しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発声の仕方や演奏方法など、音楽表現を高めるために創意工夫をしているか。 ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、表現したり聴いたりすることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽活動を楽しみ、音や音楽、音楽文化に親しんでいるか。 ○主体的・協働的に学習に取り組もうとする姿勢があるか。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○授業での取り組み ○実技テスト ○発声の技能 ○定期テスト ○ワークシートの記述内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業での取り組み ○実技テスト ○定期テスト ○ワークシートの記述内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業での取り組み ○提出物の内容の取り組み

美術科

(1)学習指導要領における目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、情操を養う。

(2)本校における教科テーマ：【一人ひとりの感性を豊かにし、造形的な見方・考え方を働かせて表現できることを目指す。】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
視点	<ul style="list-style-type: none"> ○感性や造形感覚を働かせ、表現の技能を身につけ、意図に応じて表現方法などを創意工夫している。 ○造形的な視点を理解している。 ○感性や想像力を働かせて、作品のよさや美しさを感じ取り、味わい理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○造形的な視点を考えるとともに、感性や想像力を働かせ、豊に発想し、よさや美しさなどを考え、創造的な表現の構想を練っている。 ○感性や想像力を働かせて、作品のよさや美しさを感じ取り、味わい理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○作品を制作する技能など ○課題を理解し表現など ○感性を見通したアイディアスケッチなど ○鑑賞、振り返りカード(プリント)など ○テストなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○構想を練ったアイディアスケッチなど ○作品が完成するまでの制作における創意工夫など ○鑑賞、振り返りカード(プリント)など ○テストなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習活動への取り組み ○課題の理解、取り組む姿勢 ○アイディアスケッチなど ○作品に取り組む意欲など

保健体育科

(1)学習指導要領における目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを旨とする。

(2)本校における教科テーマ:

＜体育分野＞【見方・考え方を働かせ、生涯にわたって運動に親しみ、豊かなスポーツライフを実現するための3つの資質・能力をバランスよく育む学習指導と評価の工夫】

＜保健分野＞【見方・考え方を働かせ、生涯を通じて心身の健康の保持増進を図るための3つの資質・能力をバランスよく育てる学習指導と評価の工夫(実践力の育成)】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
視点	○運動の合理的な実践を通じて、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けているか。 ○個人生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解しているか。	○生涯にわたって運動に親しむことを目指して、学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫しているか。 ○個人生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それを表しているか。	○運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、運動の合理的な実践に積極的(自主的)に取り組もうとしているか。 ○個人生活における健康・安全についての学習に自主的に取り組もうとしているか。
資料	○各種目の要点を合理的に押さえた動きをしているかの見取り ○単元テスト ○学習ノート(プリント)	○活動の様子(観察) ○学習ノート(プリント)	○活動の様子(観察) ○学習ノート(プリント)

技術・家庭科

(1)学習指導要領における目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

(2)本校における教科テーマ:

【生活に密接した題材の学習を通して様々な心を育てるとともに、未来を創り社会を生き抜く資質・能力の育成を行う。】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
視点	教科の内容についての基礎的・基本的な知識を身に付け、それらに係る技能を身に付けているか。	生活や社会の中から課題を見つけて自分なりに解決策を構想し、実践を評価・改善し、課題を解決しようとしているか。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとしているか。
資料	○プリント、レポート、作業の内容 ○作品等 ○定期テスト	○プリント、レポート、作業の内容 ○作品等 ○定期テスト	○プリント、レポート、作業の内容 ○作品等

英語科

(1)学習指導要領における目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

(2)本校における教科テーマ:

【ICT を活用した学びの連続性の中で、協調的な言語活動を通して、より良いコミュニケーションのあり方を探究する授業の実践】

(3)本校における観点別評価のための視点と資料とするもの

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
視点	<ul style="list-style-type: none"> ○英語の特徴やきまりに関する事項を理解しているか。 ○文章等を聞いて、または読んで、その内容を捉える技能を身につけているか。 ○事実や自分の考え、気持ちなどを、伝え合ったり話したり、または書く技能を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○設定された目的、場面、状況に応じて、情報や考え、気持ちを適切に表現することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○設定された目的、場面、状況に応じて、情報や考え、気持ちを適切に表現しようとしているか。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト ○単元テスト ○パフォーマンス 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト ○単元テスト ○パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト ○単元テスト ○パフォーマンステスト ○授業などへの取り組み